

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	ドイツ語 1	
科目基礎情報							
科目番号	0208		科目区分	一般 / 選択			
授業形態			単位の種別と単位数	学修単位: 1			
開設学科	制御情報工学科		対象学年	4			
開設期	前期		週時間数	1			
教科書/教材	川嶋正幸、中村憲治、Klaus Schlichtmann 共著「初級ドイツ語 フランクフルト四重奏」(朝日出版社)						
担当教員							
到達目標							
1.ドイツ語の基本的な語彙を理解し、文の発音ができる。 2.独和辞典を用いて、ドイツ語の基本的な文を読解することができる。 3. ドイツ語の基本的な「決まり文句」を覚える。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	ドイツ語の一般的な語彙を理解し、文の発音ができる。		ドイツ語の基本的な語彙を理解し、文の発音ができる。		ドイツ語の基本的な語彙を理解し、文の発音をすることができない。		
評価項目2	独和辞典を用いて、ドイツ語の発展的な文を読解することができる。		独和辞典を用いて、ドイツ語の基本的な文を読解することができる。		独和辞典を用いて、ドイツ語の基本的な文を読解することができない。		
評価項目3	ドイツ語の重要な「決まり文句」を覚えている。		ドイツ語の基本的な「決まり文句」を覚えている。		ドイツ語の基本的な「決まり文句」を覚えていない。		
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (A1) 学習・教育到達度目標 (C3) 学習・教育到達度目標 (C4)							
教育方法等							
概要	ドイツ語の基本的な語彙、文の発音、独和辞典を用いての基本的な文の理解、基本的な「決まり文句」について学ぶ。						
授業の進め方・方法	・ 学生が授業を確実に理解できるよう、単語や文などについての記憶すべき箇所を毎時間指定し、その理解度を確認するようにする。 ・ 予習を課す箇所については、そこに含まれる新出の文法事項や注意すべき事項を前時に説明する。 ・ 予習を課した箇所については、全文を板書して解説する。						
注意点	・ 予習すべき箇所を指示するので、既習の知識をもとに十分に調べてくること。 ・ 文字を正確に書けるよう、指示に従いよく練習すること。 ・ 成績評価は評価割合に準拠するが、授業態度が著しく悪い場合は減点することもある。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		授業の進め方を理解する 背景となる一般的知識を得る		
		2週	アルファベット、発音の基本		ドイツ語の基本的な単語の発音ができる		
		3週	辞書の引き方		独和辞典の引き方を覚える		
		4週	規則動詞の現在人称変化		主語によって変わる動詞の語尾を確認できる		
		5週	決定疑問文		「はい」、「いいえ」で答えさせる疑問文を確認できる		
		6週	sein, haben の現在人称変化		sein と haben の動詞形を確認できる		
		7週	中間試験				
		8週	試験返却・解答				
	2ndQ	9週	不定詞と定動詞		不定詞と定動詞を確認できる		
		10週	定動詞第2位の原則		決定疑問文を除き、定動詞は文の第2要素目に位置することを確認できる		
		11週	名詞の性		名詞の「文法上の性」を確認できる		
		12週	名詞と冠詞の格変化		冠詞と名詞によって「格」が示されることを確認する		
		13週	名詞の複数形		名詞の複数形の格変化を確認できる		
		14週	不規則動詞の現在人称変化 (1)		単数2, 3人称で語幹の母音が変わる動詞を確認できる		
		15週	期末試験				
		16週	試験返却・解答				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	10	10	0	100
基礎的能力	80	0	0	10	10	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0